

資料の見方について

○資料1「地域協議の進捗状況等について」

- ・7つの地域ブロックごとの地域協議の進捗状況です。
- ・各地域において、統合検討委員会や統合準備委員会に進んだ組合せがあり、統合に合意が得られた組合せが4つあります。

○資料2「河辺地域ブロックの1歳から12歳までの年齢ごとの児童数（令和4年5月1日現在）」

- ・表の左側が各小学校の現在の小学1年生から6年生までの児童数、そして右側が1歳から6歳までの未就学児の数です。
- ・戸島小を例にすると、表の上段は、令和4年5月1日現在、戸島小に在籍している児童数であり、下段は、戸島小地区内に実際に居住している児童数となります。
- ・戸島小には、小学6年生が12名在籍しておりますが、実際には、戸島小地区内に14名の児童がいるため、12名/14名で、増減率が0.857となります。率は毎年変わりますが、右側の未就学児の推計値については、直近の小学校1年生の率をかけて算出しています。
- ・同じように、各小学校の年齢ごとの児童数を算出しています。

○資料3「河辺地域ブロックの児童・生徒数の将来推計」

- ・資料3は、資料2に記載した6年後の2028（令和10）年の児童数と12年後の2034（令和16）年までの生徒数の推移と見込みをグラフ化したものです。
- ・青い折れ線は、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計を基にしています。
- ・赤い折れ線は、資料2に記載している児童数の将来推計を基にしています。
- ・緑の折れ線は、2022（令和4）年度までの実績です。

○資料4「学校施設の現状と学校規模シミュレーション」

- ・1、2枚目は小学校、3枚目が中学校になります。
- ・資料の上段には、各校の現在の校舎と校地面積等を比較できるようにしています。
- ・学校の規模については、令和4年度の実児童数と、資料2の未就学児の推計を基に、学年ごとの学級数について、令和5年度から10年度まで（中学校の表は令和16年度まで隔年）の推計をしております。